

オニスゲ カヤツリグサ科 スゲ属 Carex dickinsii



水辺の林

草

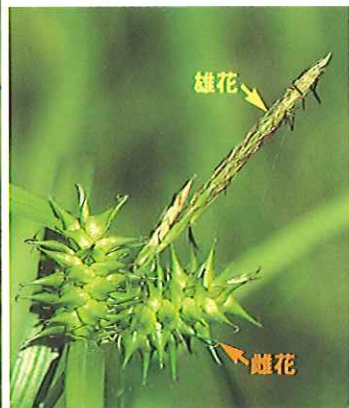
つるになっていない

陽より低い 目立たない・緑

線形の細長い葉



2002年4月19日



雄花と雌花。2002年4月19日

主にハンノキ林の地面の部分(林床)などの浅い水辺や湿ったところに生えます。ウマスゲ(158頁)に似ていますがひとつひとつの実が大きく、穂(小穂)全体に幅があり全体的にも大きいのが特徴です。

DATA

見られる場所 ● 湿地

各地にふつうに生える

花の時期 ● 5～6月



実の数は少ない。実についたトゲは長く、先はくちばし状。 2002年6月6日

カサスゲ カヤツリグサ科 スゲ属 Carex dispalata



水辺の林

草

つるになっていない

隠より低い 目立たない・緑

線形の細長い葉



2002年5月15日



2002年4月18日

水
辺
の
林

ハンノキ林の地面の部分(林床)^{りんしょう}
や湿地、旧流路の浅い水辺にまとま
って生えます。穂(小穂)^{しょうすい}は棒状で
細長い形をしています。葉はすげ笠
の原料となります。

DATA

- 見られる場所 ● 湿地
各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 4～7月
- 結びつきの強い ● ヒメジャノメ
生きもの



ヒメジャノメ成虫 1997年9月7日

● ヒメジャノメの食草
ヒメジャノメ(チョウ・ガ)
の幼虫が、葉を食べます。

ウマスゲ

カヤツリグサ科 スゲ属 *Carex idzuroei*



水辺の林

草

つるになっていない

隠れり低い

目立たない・緑

線形の細長い葉



2002年4月27日

ヨシ原の周り、ハンノキ林などや
や湿ったところに生えます。実はや
や小さく、柄にすぎ間なくついてい
ます。穂(小穂)はオニスゲ(156頁)
に似ていますが全体に細長く、まっ
すぐに立ちます。

スゲのながまは
実の形がいろいろだよ。
虫めがねで見てみよう！



DATA

見られる場所

● 湿地

各地にふつうに生える

花の時期

● 5～6月

フジバカマ

キク科 ヒヨドリバナ属
Eupatorium japonicum

国RDB絶滅危惧II類
埼玉県RDB絶滅危惧IB類



水辺の林

草

つるになっていない

背丈より低い

白

切れ込みのある葉



2002年9月3日



春頃の様子 2002年6月30日

草はらや土手などでまれにしか見られない希少な種です。乾いた草はらや雑木林に生えるヒヨドリバナによく似ていますが、葉の色が濃く、表面にややつやがあります。葉を乾かすと桜もちの香りがします。秋の七草のひとつです。荒川河川敷ではほとんど見られず、貴重な植物です。

DATA

見られる場所 ● 汜らん原

まれ

花の時期 ● 8～9月



2002年9月3日



葉は3つに裂けることが多い。2002年9月3日

水
辺
の
植

ゴマギ

スイカズラ科 ガマズミ属 *Viburnum sieboldii*



水辺の林

木

つるになっていない

低い木

白

切れ込みのない葉・ギザギザあり

水
辺
の
林



2002年4月18日

やや湿ったところに生える中低木です。荒川河川敷ではハンノキの林でよく見かけます。雑木林に生えるガマズミに似ていますが、これよりも葉は細長く、葉のふちのギザギザはよりはっきりしています。葉をちぎるとゴマの香りがすることからゴマギの名がついています。

DATA

- 見られる場所 ● 汜らん原
各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 4～6月



実 2002年8月2日

カワヤナギ

ヤナギ科 ヤナギ属 *Salix gilgiana*



水辺の林

木

つるになっていない

低い木

目立たない・黄

切れ込みのない葉・ギザギザあり



細長い葉が特徴。 2002年4月24日

水
辺
の
林

水辺や湿ったところに生える低木～中高木です。荒川河川敷で見られるヤナギ類では、もっとも葉が細長い形をしています。葉の幅はふくらみがなく平行で、ふちにはギザギザがあります。



ノコギリクワガタ

●ノコギリクワガタなど

ヤナギのながまは、樹液がよく出るのでノコギリクワガタ(コウチュウ)やカブトムシ(コウチュウ)がやってきます。また、コムラサキ(チョウ・ガ)の幼虫が、葉を食べます。

DATA

- 見られる場所 ●水辺 湿地
各地にふつうに生える
- 花の時期 ●3月
- 結びつきの強い ●コムラサキ
生きもの

イヌコリヤナギ

ヤナギ科 ヤナギ属 *Salix integra*



水辺の林

木

つるになっていない

低い木

目立たない・黄

切れ込みのない葉・ギザギザあり



葉のつけ根の部分が丸く、柄が短い。

2002年5月22日

湿ったところに生える低木です。荒川河川敷で見られるヤナギ類ではもっとも小さいサイズです。葉は小さく、だ円形です。葉のつけ根の部分は丸くなり、柄が短いことや、主に葉が対になっていることで他のヤナギ類とは区別ができます。

DATA

見られる場所 ● 水辺 湿地

やや少ない

花の時期 ● 4～5月



花 2002年3月30日

オノエヤナギ

ヤナギ科 ヤナギ属 *Salix sachalinensis*



水辺の林

木

つるになっていない

低い木

目立たない・黄

切れ込みのない葉・ギザギザあり



葉につやがある。

2002年4月24日

水
辺
の
林

水辺や湿ったところに生える低木～中高木です。葉にはギザギザがあり、先に向かって細くなります。タチヤナギ(164頁)に似ていますが、葉のふちが波打ち、表面につやがあることで見分けることができます。



葉の形、つき方、
つやなどが
見分けるポイント！

DATA

見られる場所 ●水辺 湿地
やや少ない

花の時期 ●4～5月

結びつきの強い ●コムラサキ
生きもの



コムラサキ 2001年6月19日

●コムラサキの食樹

コムラサキ(チョウ・ガ)
の幼虫が、葉を食べます。

タチヤナギ

ヤナギ科 ヤナギ属 *Salix subfragilis*



水辺の林

木

つるになっていない

低い木

目立たない・黄

切れ込みのない葉・ギザギザあり

水
辺
の
林



先にかくに従って長細くなる葉。

2002年4月18日

水辺や湿ったところに生える低木～中高木です。荒川河川敷ではもっともふつうに見られるヤナギです。葉のふちにはギザギザがあります。アカメヤナギ(167頁)に似ていますが、葉は先に向かって細くなり、また葉にはオノエヤナギ(163頁)のようなつや也没有。

DATA

- 見られる場所 ● 水辺 湿地
各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 4～5月
- 結びつきの強い ● コムラサキ
生きもの



花 2002年4月7日

ハンノキ カバノキ科 ハンノキ属 *Alnus japonica*



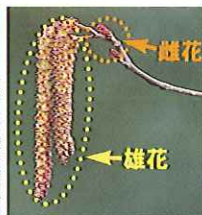
水辺の林

木 つるになっていない

高い木 目立たない・赤～茶 切れ込みのない葉・ギザギザあり

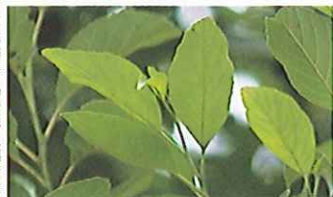


ハンノキ林 2002年4月4日



雄花(先)と雌花。
花の時期は1～2月と早く、秋に松ぼっくりのような形の果になる。

2002年2月9日



葉 2002年6月28日

水
辺
の
林

汜らん原の湿地や稲作をやめた田んぼに生える高木です。荒川河川敷を代表する種で、秋ヶ瀬のハンノキ林は関東地方で最大規模です。また荒川は、関東地方を流れる大きな川のなかでは、ハンノキ林の面積がもっとも広く残っています。松ぼっくりを小さくしたような実がなります。



7月頃の実



4月頃の実



ミドリシジミ成虫
2001年6月19日



ミドリシジミ卵

DATA

見られる場所 ●湿地 畦 各地にふつうに生えるが林は局地的

花の時期 ●1～3月

結びつきの強い生きもの ●ミドリシジミ オオミズアオ

●ミドリシジミなど

埼玉県のコウ、ミドリシジミ(コウ・ガ)の幼虫が葉を食べます。そのほか、オオミズアオ(コウ・ガ)などたくさん昆虫が利用します。

オニグルミ クルミ科 クルミ属 Juglans ailanthifolia



水辺の林

木 つるになっていない

高い木

目立たない・緑

たくさんの小さい葉の集合体



実 2002年6月20日



花 2002年4月28日



ネズミが食べたあと。



羊の顔？ 冬芽と葉痕

水
辺
の
林

水辺に生える落葉高木です。葉は、軸の左右に小さな葉（小葉）が並んでいます（奇数羽状複葉）。夏から秋には直径3cmの球形の実をつけます。実のなかの核がいわゆる「クルミの実」でタネにあたる部分が食用になります。オニグルミは他の植物が育つのを妨げる物質を出すので、周りにはあまり他の植物が生えません。冬に葉の落ちた痕（葉痕）を見ると動物の顔のように見えます。目や口に見える部分は養分や水分の通り道です。

●クルミハムシとカメノコテントウ



クルミハムシ



カメノコテントウ

クルミハムシ（コウチコウ）が、葉を食べ、カメノコテントウ（コウチコウ）は、クルミハムシの幼虫を食べます。

DATA

- 見られる場所 ● やや湿った河川敷
各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 4～5月
- 結びつきの強い生きもの ● クルミハムシ
オニグルミノキモンカミキリ

アカメヤナギ

ヤナギ科 ヤナギ属 *Salix chaenomeloides*



水辺の林

木 つるになっていない

高い木

目立たない・黄

切れ込みのない葉・ギザギザあり



花 2002年4月18日

水辺や湿ったところに生える高木です。荒川河川敷に生えるヤナギ類ではもっとも大きくなり、15mを越えます。葉は幅広く、別名マルバヤナギといいます。若葉は赤みを帯び、目立ちます。また、えり巻き状の大きな葉の付属物(托葉)があるのも特徴です。



大きなえり巻き状の葉の付属物(托葉)
2002年5月24日

水
林
の

DATA

- 見られる場所 ●水辺 湿地
各地にふつうに生える
- 花の時期 ●4~5月
- 結びつきの強い生きもの ●コムラサキ
カブトムシ



カブトムシ

●カブトムシなど

カブトムシ(コウチュウ) やノコギリクワガタ(コウチュウ)などが樹液に集まります。

ハナタデ

タデ科 イヌタデ属 *Persicaria posumbu* var. *laxiflora*



高台の林

草

つるになっていない

ひざより低い

ピンク

切れ込みのない葉・ギザギザなし



2002年10月3日

高台の
林

秋に林のへりなど、やや薄暗いところで咲きます。花は淡いピンク色でイヌタデやオオイヌタデ(237頁)に比べ、まばらにつきます。葉の下側に茎をとりまく、長いさや(托葉鞘たくようしやう)があり、そのふちに毛があります。葉は中央がやや幅広くなります。



DATA

- 見られる場所 ● 薄暗い林縁など
各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 8~10月



葉のつけ根の茎のところに托葉鞘というさやがあるよ。

ジャノヒゲ ユリ科 ジャノヒゲ属 *Ophiopogon japonicus*



高台の林

草

つるになっていない

ひざより低い

白

線形の細長い葉



2002年7月13日

高台の
林

雑木林などの地面の部分（林床^{りんしょう}）に生えます。別名リュウノヒゲとい
います。花は淡い紫色であり目立
ちません。しかし、秋から冬にかけ
て青く熟す実はよく目立ちます。

DATA

- 見られる場所 ● 林床
各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 7～8月



実 1987年12月5日

やぶらん ユリ科 ヤブラン属 *Liriope muscari*



高台の林

草

つるになっていない

ひざより低い

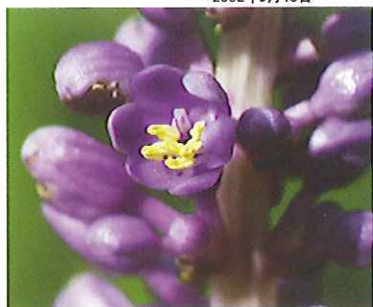
青～紫

線形の細長い葉



2002年9月10日

雑木林などの地面の部分（^{りんしょう}林床）に生えます。似た種にジャノヒゲ（169頁）がありますが、やぶらんは、葉の幅が広く、全体に大きいのが特徴です。夏に茎を伸ばしてうす紫色の花をたくさんつけ、実は黒く熟します。ジャノヒゲのようにまとまって生えることはありません。



花

DATA

見られる場所 ● 林床 林縁
各地にふつうに生える
花の時期 ● 8～10月



やぶらんと
ジャノヒゲは
花のつき方を
比べてみよう！

ノイバラ バラ科 バラ属 *Rosa multiflora*



高台の林

木

つるになっていない

背丈より低い

白

3~7枚の小さい葉の集合体



2002年5月14日

高台の
林

河川敷の草はらのいたるところに生える落葉低木です。ヨシ原などで地面が乾いてくると入り込み、広がります。初夏、白い花をたくさんつけ、実は熟すと赤くなります。砂れき河原に生える、似た種のテリハノイバラ(187頁)は、地上をはい、冬でも葉があります。

DATA

見られる場所 ●林縁 湿地 草はら
各地にふつうに生える

花の時期 ●5~6月

結びつきの強い生きもの ●ヒメクロオトシブミ



花びらはハート形。
2002年5月14日

カラスウリ

ウリ科 カラスウリ属 *Trichosanthes cucumeroides*



高台の林

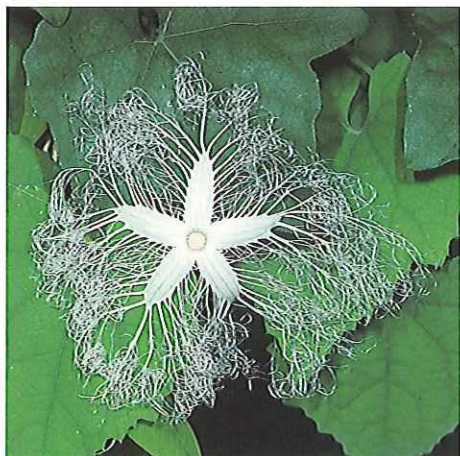
草

つるになっている

背丈より高い

白

切れ込みのない葉・ギザギザあり



花は夜しか咲かない。1995年8月14日



実は大きく、熟すと朱色になる。

2002年10月15日

林のへりに生える、つる性の植物です。花は真夏の夜に開き、朝にはしぼんでしまうため、その美しい姿を見るためには、夜出かけなければなりません。実は、最初、淡い緑色で後に熟すと美しい朱色になります。

DATA

- 見られる場所 ● 林縁
各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 8～9月
- 結びつきの強い生きもの ● トホシテントウ
クロウリハムシ



トホシテントウ

- トホシテントウの食草
トホシテントウ(コウチュウ)やクロウリハムシ(コウチュウ)が葉を食べます。

エビツル

ブドウ科 ブドウ属 *Vitis ficifolia* var. *lobata*



高台の林

木

つるになっている

背丈より高い

目立たない・緑

切れ込みのある葉



2002年6月6日

高台の
林の

林のへりに生える、つる性の木です。ヤマブドウのなかまで実は熟すと甘くておいしい味がします。ノブドウ(174頁)に似ていますが、葉の裏側に淡い茶色のモジャモジャした毛がすき間なく生えていることで見分けることができます。



アカガネサルハムシ
2000年6月4日



ブドウハマキチョッキリ
2000年6月17日

DATA

見られる場所

●林縁

各地にふつうに生える

花の時期

●6~8月

結びつきの強い
生きもの

●アカガネサルハムシ

ブドウハマキチョッキリ

●アカガネサルハムシの食草

美しいアカガネサルハムシ(コウチュウ)が、葉を食べます。オトシブミのながまのブドウハマキチョッキリ(コウチュウ)は葉を丸めて卵を産みます。

ノブドウ フトウ科 ノブドウ属 *Ampelopsis glandulosa* var. *heterophylla*



高台の林

草

つるになっている

背丈より高い

目立たない・緑

切れ込みのある葉



虫こぶになることが多い実。
2002年10月3日

花
2002年8月2日

林のへりや草はらに生える、つる性の多年草(冬、地上の茎などが枯れても土のなかで根が生きていて、春にはまた芽が出る草)です。エビヅル(173頁)に似ていますが葉の裏には毛がありません。実は虫こぶになることが多いです。



葉の形。 2002年6月6日



2002年6月21日

DATA

- 見られる場所 ● 林縁
各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 7~8月
- 結びつきの強い ● アカガネサルハムシ
生きもの

ヤブガラシ フトウ科 ヤブガラシ属 *Cayratia japonica*



高台の林

草

つるになっている

背丈より高い

目立たない・緑

3~7枚の小さい葉の集合体



葉の表面に毛はない。 2002年6月28日

高台の
林の

草はらや林のへりでふつうに見られるつる性の多年草(冬、地上の茎などが枯れても土のなかで根が生きていて、春にはまた芽が出る草)です。葉は5枚の小さな葉(小葉)からなり、葉の表面に毛はありません。茎の断面は四角い形をしています。

DATA

- 見られる場所 ● 林縁
各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 6~8月
- 結びつきの強い生きもの ● セスジスズメなどの
スズメガ類、アゲハ類
アシナガバチ類



ヒメウラナミジャノメ



モンシロチョウ



マメコガネ

目立たない
花だけど
たくさんの
昆虫が
訪れるよ。



アマチャヅル ウリ科 アマチャヅル属 *Gynostemma pentaphyllum*



高台の林

草

つるになっている

背丈より高い

目立たない・緑

3~7枚の小さい葉の集合体



2002年6月6日



花は星形。 2002年7月18日



葉の表面に毛がある。2002年7月18日

雑木林などの地面の部分(林床)に生える、つる性の植物です。葉は3~7枚(ふつうは5枚)の小さな葉(小葉)からなり、茎の断面は丸い形をしています。ヤブガラシ(175頁)に似ていますが、ヤブガラシは葉の表面に毛がないのに対し、アマチャヅルはまばらな毛があります。葉には甘みがあり、乾燥させてお茶にします(アマチャヅル茶)。

DATA

見られる場所 ● 林縁 林床

各地にふつうに生える

花の時期 ● 8~9月

結びつきの強い生きもの ● クロウリハムシ、トホシテントウ



クロウリハムシ

●クロウリハムシの食草
クロウリハムシ(コウチュウ)が葉を食べます。

イボタノキ

モクセイ科 イボタノキ属 *Ligustrum obtusifolium*



高台の林

木

つるになっていない

低い木

白

切れ込みのない葉・ギザギザなし



2002年5月21日

高台の
林

やや湿った林のなかや林のへりに生える半落葉性の低木です。長だ円形の葉が対になってついています。初夏に白い花をすき間なくつけます。



ウラゴマダラシジミ



卵 1992年1月15日

成虫 1995年6月25日

●ウラゴマダラシジミなど

ミドリシジミのながまのウラゴマダラシジミ(チョウ・ガ)の幼虫が葉を食べます。冬、面白い形をした卵が見つかりますよ。ほかに、イボタガ(チョウ・ガ)やホシシャク(チョウ・ガ)の幼虫が葉を食べます。

DATA

- 見られる場所 ●やや湿った林内
各地にふつうに生える
- 花の時期 ●5~6月
- 結びつきの強い生きもの ●ウラゴマダラシジミ
イボタガ
ホシシャク

スイカズラ スイカズラ科 スイカズラ属 *Loniceria japonica*



高台の林

木

つるになっている

低い木

白

切れ込みのない葉・ギザギザなし



2002年5月22日

高台の
林の

林のへりに生える、つる性の木です。初夏、最初白い花が咲きますが時間がたつと黄色に変わります。花は筒状になっていて、そのつけ根には蜜がたまっており、吸うと甘い味がします。冬になっても葉が落ちないので忍冬^{にんどう}と呼ばれます。葉の形は変化が大きいです。

DATA

- 見られる場所 ● 明るい草はら 農地周辺
各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 5~7月
- 結びつきの強い生きもの ● イチモンジチョウなど



イチモンジチョウ
1997年10月10日



アサマイチモンジ
2001年6月2日

●イチモンジチョウなどの食樹
イチモンジチョウ(チョウ・ガ)、アサマイチモンジ(チョウ・ガ)の幼虫が葉を食べます。アサマイチモンジは日本でしか見られません。荒川ではよく見かけます。

ミズキ

ミズキ科 ミズキ属 *Cornus controversa*



高台の林

木

つるになっていない

高い木

白

切れ込みのない葉・ギザギザなし



花 2002年4月18日



葉 2002年4月7日

高台の
林の

川の自然堤防上から山まで広く見られる落葉高木です。枝が年ごとにテーブル状に張り出します。丸みを帯びた葉と弧を描くようなはっきりした葉のすじ(葉脈)^{ようみゃく}も特徴です。

DATA

- 見られる場所 ● 自然堤防
各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 5～6月
- 結びつきの強い生きもの ● エサキモンキツノカメムシ



エサキモンキツノカメムシ
1994年6月17日

●エサキモンキツノカメムシ

エサキモンキツノカメムシ(カメムシ)が葉の裏に卵を産みます。幼虫は葉の汁を吸います。

ハリエンジュ

マメ科 ハリエンジュ属 *Robinia pseudoacacia*



高台の林

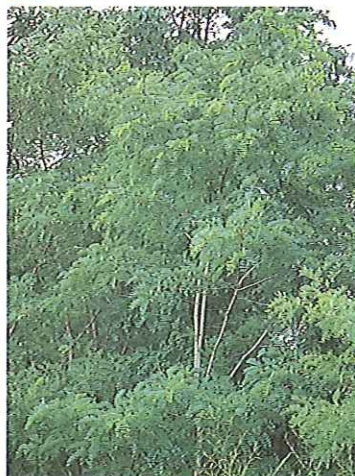
木

つるになっていない

高い木

白

たくさん小さい葉の集合体



2002年6月28日



花 2002年5月12日

高台の
林

別名ニセアカシア。北アメリカ原産の帰化植物で、主に砂防用に植えられたものが各地に広がっています。栄養の少ない場所でもよく育ちます。荒川河川敷では、かつて砂れき河原に特有の植物がまとまって生えていた場所にも入り込んで、林をつくっています。そのため、もともとの砂れき河原の風景とは全く違う風景となっており、在来種を絶滅の危機に追いやっています。初夏、白い花が房状に咲き、良い香りがします。



セイヨウミツバチ 1996年6月8日

●ミツバチが蜜を吸いに
セイヨウミツバチ(ハチ)など
が花の蜜を吸います。

DATA

- 見られる場所 ● 広い河川敷
各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 5月
- 結びつきの強い ● セイヨウミツバチ
生きもの

ムクノキ ニレ科 ムクノキ属 *Aphananthe aspera*



高台の林

木 つるになっていない

高い木

目立たない・緑

切れ込みのない葉・ギザギザあり



大木になる。 2002年4月18日

葉の表面はサンドペーパーのよう
にざらつく。
2002年6月30日



葉のつけ根の
すじ(葉脈)から
枝分かれする。
2002年7月16日



高台の
林の

川の自然堤防上によく見られる種のひとつです。落葉性で高木となります。若い木の樹皮には、白っぽい地に茶色のすじがあり、大木になるとそのすじが割れてはがれます。葉はエノキ(182頁)やケヤキ(183頁)に似ますが、葉のふちに鋭いギザギザがあることでエノキと、葉のすじ(葉脈)のつき方からケヤキと区別できます。実は熟すと甘く、食べられます。



大木になると、樹皮ははがれる。
2002年4月7日

DATA

- 見られる場所 ● 自然堤防
各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 4~5月



250頁に見分け方がのってるよ!

エノキ ニレ科 エノキ属 *Celtis sinensis* var. *japonica*



高台の林

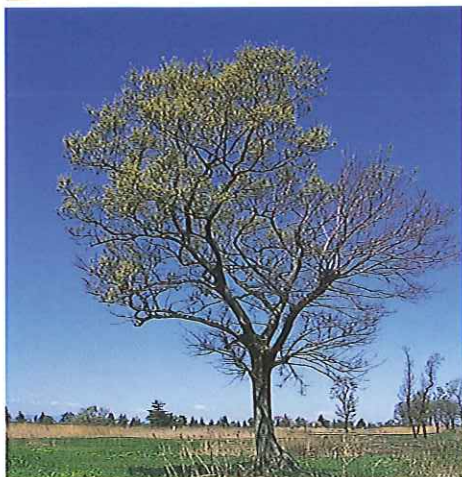
木

つるになっていない

高い木

目立たない・緑

切れ込みのない葉・ギザギザあり



樹形
2002年4月4日



若葉 2002年4月7日



幹 2003年1月10日

高台の
林

川の自然堤防上によく見られる代表的な落葉高木です。葉はつけ根がらすじ(葉脈)が3本に分かれます(三行脈)。また葉のふちは先の部分にだけギザギザがあります。樹皮はケヤキ(183頁)やムクノキ(181頁)と違い、暗い色でザラザラしています。(251頁参照)



木の下で落ち葉を
そっと裏返してみ
ると…。ゴマダラ
チョウの幼虫がい
ないかな？



背中突起が4列のオオムラサキ幼虫(右)、
背中突起が3列のゴマダラチョウ幼虫(左)

1988年

DATA

- 見られる場所 ● 自然堤防
各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 4～5月
- 結びつきの強い ● オオムラサキ
- 生きもの ヤマトタマシなど

●オオムラサキなどの食樹

国蝶のオオムラサキ(チョウ・ガ)をはじめ、ゴマダラチョウ(チョウ・ガ)、テングチョウ(チョウ・ガ)などチョウの幼虫が葉を食べます。

ケヤキ ニレ科 ケヤキ属 *Zelkova serrata*



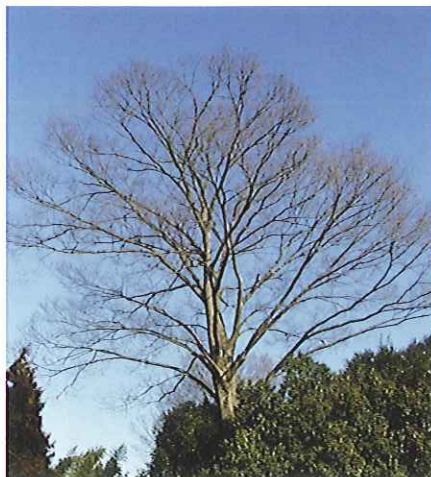
高台の林

木 つるになっていない

高い木

目立たない・緑

切れ込みのない葉・ギザギザあり



樹形



葉 2002年4月28日



幹 2003年1月10日

高台の
林

山や川の上流の渓谷などに生える落葉高木です。よく街路樹にも使われ、日本を代表する木です。竹ぼうきを逆さに立てたような樹形で、樹皮は白っぽく六角形にはがれます。葉のふちには鋭いギザギザがあります。葉はムクノキ(181頁)に似ますが、つけ根から出るすじ(葉脈)^{ようみやく}が枝分かれしません。



251頁に見分け方がのってるよ!



ヤマトタマムシ 1995年8月9日

●ヤマトタマムシ

ヤマトタマムシ(コウチュウ)が幹に卵を産みつけます。幼虫は幹の中で育ちます。

DATA

- 見られる場所 ●崖線
各地にふつうに生える
- 花の時期 ●4月
- 結びつきの強い生きもの ●ヤマトタマムシなど

シンジュ(ニワウルシ) ニガキ科 ニワウルシ属 *Ailanthus altissima*



高台の林

木

つるになっていない

高い木

目立たない・白

たくさんの小さい葉の集合体



高台の林

河川敷に広く見られる落葉高木です。葉はウルシ類に似ますが小さい葉(小葉)の一部に出っ張りがあるのが特徴です。実は冬までついていて、遠目には白い花のように見えます。かつては天蚕(てんさん)のひとつ、シンジュサン(チョウ・ガ)のエサとして利用されていました。中国原産の帰化植物です。

シンジュは「神樹」で英名のツリー・オブ・ヘブンを訳したもの。

2002年5月30日

DATA

見られる場所

●高水敷

各地にふつうに生える

花の時期

●6月

結びつきの強い

●シンジュサン

生きもの



葉の一部に出っ張りがあるのが特徴。

2002年5月22日

クヌギ

ブナ科 コナラ属 *Quercus acutissima*



高台の林

木 つるになっていない

高い木

目立たない・黄

切れ込みのない葉・ギザギザあり



樹形 2002年6月20日



花 2002年3月31日



葉 2002年6月20日

高台の
林の

雑木林を代表する落葉高木です。関東地方の雑木林は、コナラが主な木ですが、谷の部分のやや湿った場所にはクヌギが生えています。河川敷ではエノキ、ムクノキ、ハンノキなどと交じって生えていることが多いです。葉は細長く、ふちには細かいギザギザがあります。ドングリは他の種と違い、丸い形をしています。

DATA

見られる場所 ●自然堤防 広い河川敷
各地にふつうに生える

花の時期 ●4～5月

結びつきの強い
生きもの ●カブトムシなど



●ドングリ笛

先をコンクリートなどでこすって削り、クギなどで中身を出すと、ドングリ笛のできあがり。

マメグンバイナズナ アブラナ科 マメグンバイナズナ属 *Lepidium virginicum*

砂れき河原

草

つるになっていない

ひざより低い

白

切れ込みのある葉

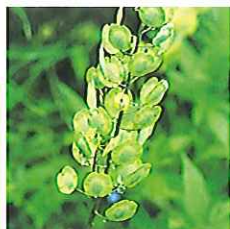
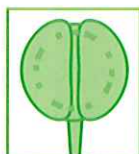


2002年5月16日



実は軍配うちわの形に似ている。

2001年5月25日



グンバイナズナの実

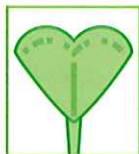
1996年5月22日

小石がゴロゴロした砂れき河原などの明るいところに生えます。実は平たく、軍配うちわのような形をしています。荒川河川敷では同じく帰化植物で、実の大きいグンバイナズナも生えていますが、まれにしか見られません。北アメリカ原産の帰化植物です。

DATA

見られる場所 ● 明るい草はら 農地周辺
各地にふつうに生える

花の時期 ● 4~6月



ナズナの実

1996年5月22日

テリハノイバラ

バラ科 バラ属 *Rosa wichuraiana*

砂れき河原

木

つるになっていない

ひざより低い

白

3~7枚の小さい葉の集合体



ノイバラと違い、葉は冬も
ついている（常緑樹）。

2002年6月28日

小石がゴロゴロした砂れき河原や
海岸などに生える低木です。ノイバ
ラ（171頁）と違い、葉は常緑でつや
があり、幹は地面をはいます。荒川
河川敷では、見られる場所は限られ
ています。荒川の中流域を代表する
植物のひとつです。



砂れき河原にまとまって生える。

2002年6月28日

DATA

見られる場所 ●砂れき河原
大麻生など

花の時期 ●6~7月

砂
れ
き
河
原

カワラハハコ

キク科 ヤマハハコ属
Anaphalis margaritacea ssp. *yedoensis*

埼玉県RDB絶滅危惧Ⅱ類



砂れき河原

草

つるになっていない

ひざより低い

白

切れ込みのない葉・ギザギザなし



花 2001年10月4日

小石がゴロゴロした砂れき河原に特有の植物で、荒川河川敷では中流域の限られた場所でしか見られませんが、小さなまとまりをつくって生えます。亜高山帯に生えるヤマハハコの亜種です。ヤマハハコより葉が細く先が尖ります。

砂れき河原



初夏の頃の様子。2002年5月16日

DATA

見られる場所 ● 砂れき河原
大麻生など

花の時期 ● 9～10月

マルバヤハズソウ

マメ科 ハギ属 *Kummerowia stipulacea*

砂れき河原

草

つるになっていない

ひざより低い ピンク

3～7枚の小さい葉の集合体



2002年9月9日



花 2002年9月9日



葉
2002年6月28日

乾燥した砂れき河原で多く見られます。葉は3枚の小さな葉(小葉)からなります。小葉は、先が少しくぼんだハート形をしています。似た種のヤハズソウ(190頁)は小葉がラグビーのボールのような形をしています。

DATA

- 見られる場所 ● 砂れき河原
各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 7～9月



● やってみよう!



ヤハズソウと同じように葉を横にして両はしをつまんで引っ張ると、葉のすじの形にきれいに切れます。

砂れき河原

ヤハズソウ

マメ科 ハギ属 *Kummerowia striata*

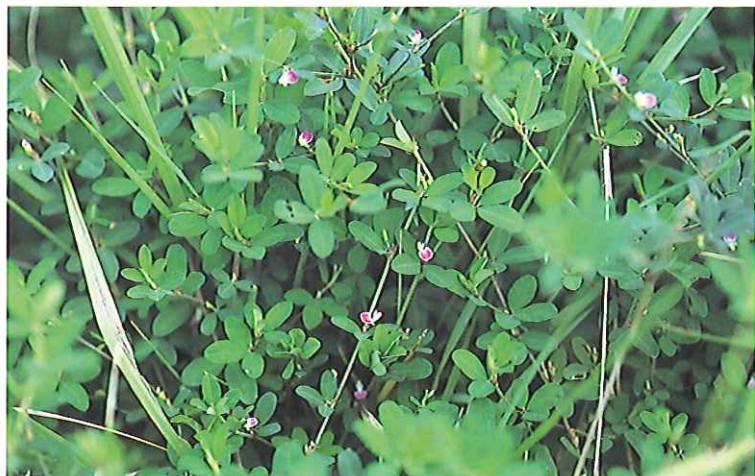
砂れき河原

草

つるになっていない

ひざより低い ピンク

3~7枚の小さい葉の集合体



2002年9月3日

砂れき河原

道ばたなどの日当たりの良いところに生えます。葉は3枚の小さな葉(小葉)からなり、長いだ円形でラグビーボールのような形をしています。ヤハズソウの名は、葉を横にして両はしをつまんで引っ張り、葉のすじに沿ってきれいに切れた形を矢羽根の形(矢はず)に見立てたことに由来します。



葉の形はラグビーボールのよう。

2002年6月28日

DATA

- 見られる場所 ● 砂れき河原
各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 8~9月

カワラサイコ

バラ科 キジムシロ属 *Potentilla chinensis*

砂れき河原

草

つるになっていない

ひざより低い

黄

切れ込みのある葉



花
2002年6月28日

2002年6月28日

小石がゴロゴロした砂れき河原を代表する種で、全国的に著しく減っている種です。夏にヘビイチゴ(118頁)に似た黄色い花をたくさんつけます。激しい切れ込みのある葉は特徴的で他に似た種はありません。荒川河川敷では、中流や支川の砂れき河原でしか見られません。



マクガタ TENTU 2001年5月25日

●マクガタ TENTU

葉の上では、かれんな雰囲気のマクガタ TENTU (コウチュウ) をよく見かけます。カワラサイコなどにつくアブラムシを食べます。

DATA

見られる場所 ●砂れき河原
大麻生

花の時期 ●6~8月

結びつきの強い ●マクガタ TENTU
生きもの

砂れき
河原

コマツヨイグサ

アカハナ科 マツヨイグサ属 *Oenothera laciniata*

砂れき河原

草

つるになっていない

ひざより低い

黄

切れ込みのある葉



2002年6月28日

砂れき
河原

小石がゴロゴロした砂れき河原や海辺に見られる草です。茎は地面をはいます。花びらは4枚で、葉には不規則な切れ込みがあります。北アメリカ原産の帰化植物です。

夕方に花開くので、「待つ^{よい}宵(夜)草」という名がついています。宵待ち草とも月見草とも呼ばれるよ。



DATA

見られる場所 ● 乾燥した明るい草はら
大麻生など

花の時期 ● 7~8月

砂れき河原

草

つるになっていない

ひざより低い

黄

切れ込みのない葉・ギザギザなし



1993年7月23日

小石がゴロゴロした砂れき河原でまれにしか見られない希少な種です。細長く、やや肉厚な葉が根^{こんせいよう}ざわから出ます(根生葉)。葉の色は白っぽい緑色です。他に似ている種はありません。花は、花の軸の先が太く広がっていて、その上に柄のない小さな花がたくさんつき、ひとつの花のように見えます(頭^{とうじょうがしよ}状花序)。以前は荒川大橋付近でたくさん見られましたが、洪水後、ほとんど見られなくなりました。広い砂れき河原がないと育ちにくい種です。

葉にギザギザが
まばらにある
場合もあるよ。



DATA

見られる場所 ● 砂れき河原

花の時期 ● 5～8月

砂れき
河原

カワラナデシコ

ナデシコ科 ナデシコ属

Dianthus superbis var. *longicalycinus*

埼玉県RDB絶滅危惧II類

砂れき河原

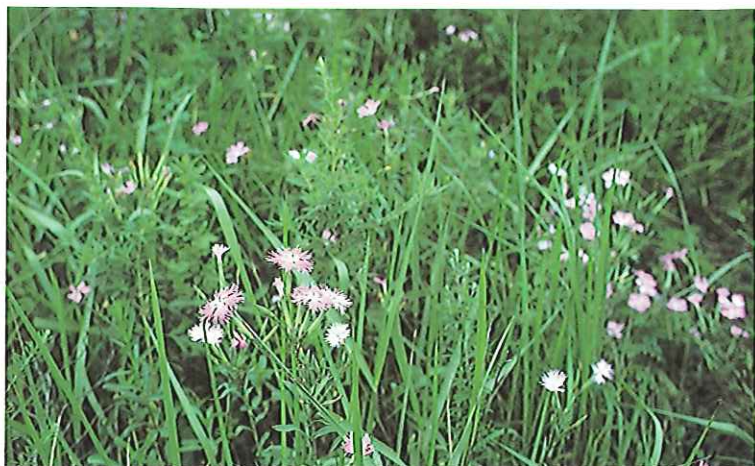
草

つるになっていない



隠より低い ヒンク

切れ込みのない葉・ギザギザなし



1997年8月12日

砂れき河原

小石がゴロゴロした砂れき河原から山の草はらまで広い範囲で見られます。荒川河川敷では生えているところが限られ、希少な種となっています。細かく裂けた花びらが特徴的なので花を見れば見分けるのは簡単です。秋の七草『ヤマハギ(萩)・ススキ(尾花)・クズ(葛)・カワラナデシコ(撫子)・オミナエシ(女郎花)・キキョウ(桔梗)』のひとつです。



花びらの先は細かく裂ける。

2000年8月23日

こがしくらいの大きさの石がごろごろした河原では、ここにしが見られない植物がたくさんあるよ。



DATA

- 見られる場所 ● 砂れき河原
大麻生
- 花の時期 ● 7～10月

カワラケツメイ マメ科 カワラケツメイ属 *Cassia mimosoides* ssp. *nomae*

砂れき河原

草

つるになっていない

隠より低い

黄

たくさんの小さい葉の集合体



2002年9月3日

花 2002年9月3日



やや安定した砂れき河原を代表する種のひとつです。荒川河川敷では生えている場所は限られています。クサネム(87頁)に似ていますが茎に毛があること、全体に緑が濃いこと、花も黄色が濃いことで簡単に見分けることができます。

DATA

- 見られる場所 ● 砂れき河原
大麻生 朝霞調節池など
少ない
- 花の時期 ● 8～10月
- 結びつきの強い生きもの ● ツマグロキチョウ



ツマグロキチョウ♂成虫 1994年8月2日

●ツマグロキチョウの食草

絶滅の恐れのある種のツマグロキチョウ(チョウ・ガ)の幼虫は、カワラケツメイの葉だけを食えます。荒川では、めったに見られなくなりました。

砂れき河原

アワコガネギク

キク科 キク属 *Dendranthema boreale*

砂れき河原

草

つるになっていない

睡より低い

黄

切れ込みのある葉



1996年10月21日



花 2001年11月15日

砂れき
河原

川の上流の土手などに生える草です。荒川河川敷では中流でまとまって生えているのが見られます。葉の形やきれいな花などは栽培種のキクのようにも見えますが、これは野生の種です。花は茎の上部にたくさん集まってつきます。

DATA

見られる場所 ●砂れき河原 山地の谷間

花の時期 ●10～11月

結びつきの強い ●ハナアブ類
生きもの

晩秋にたくさん花をつけるので、秋から冬に蜜や花粉を集める昆虫にとって、とても大切だよ。



エノコログサ イネ科 エノコログサ属 *Setaria viridis*

砂れき河原

草

つるになっていない



隠より低い 目立たない・緑

線形の細長い葉



2002年7月1日



ムラサキエノコ 2001年10月4日

道ばたや空き地など、いたるところでふつうに見られる草です。河川敷ではアキノエノコログサ(142頁)やキンエノコ(220頁)より乾いた場所でよく見られます。中流の砂れき河原では、穂の毛が赤紫色のものが多く見られ、これをムラサキエノコといいます。アキノエノコログサによく似ていますが葉の表面に毛がないことや、穂が短く、あまり垂れ下がらないことで見分けることができます。



チャバネセリ成虫

●チャバネセリの食草

チャバネセリ(チョウ・ガ)の幼虫が葉を食べます。

DATA

- | | |
|-----------------|--|
| 見られる場所 | ● 乾燥した明るい草はら
各地にふつうに生える |
| 花の時期 | ● 8~11月 |
| 結びつきの強い
生きもの | ● ヒメジャノメ
チャバネセリ
イチモンジセリ
ウスイロササキなど |

砂れき
河原

カワラヨモギ

キク科 ヨモギ属 *Artemisia capillaris*

埼玉県RDB絶滅危惧II類

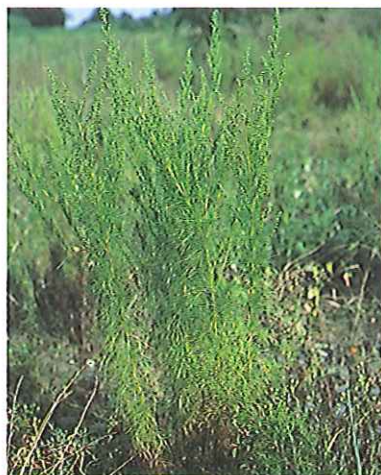
砂れき河原

草

つるになっていない

膝より低い 目立たない・緑

切れ込みのある葉



2002年8月14日



生えはじめの頃は、葉に白い毛がすき間なく生える。2002年4月4日



2002年5月16日

小石がゴロゴロした砂れき河原に特有の草で、荒川河川敷では生えるところは限られています。葉はとても細く裂け、沈水植物（水中に生える水草）の葉のようです。ただし、若い植物のときは、葉には白い毛がすき間なく生え、全く別の植物に見えます。カワラサイコ（191頁）とともに荒川中流を代表する植物です。

砂れき河原

DATA

- 見られる場所 ● 砂れき河原 大麻生など
 花の時期 ● 8～10月
 結びつきの強い生きもの ● ヨツボシアカツツハムシ



ヨツボシアカツツハムシ成虫

2002年6月28日

●ヨツボシアカツツハムシの食草

ヨツボシアカツツハムシ（コウチュウ）はカワラヨモギの葉だけを食えます。

オトコヨモギ

キク科 ヨモギ属 *Artemisia japonica*

砂れき河原

草

つるになっていない

腰より低い

目立たない・緑

切れ込みのある葉



2002年8月14日



2002年5月16日

主に小石がゴロゴロした砂れき河原などの日当たりの良い草はらに生えます。葉はへら形です。ヨモギ(145頁)に似ていますが葉の切れ込みがヨモギほどではなく、先のところにギザギザがあります。また表面にはつやがあります。

DATA

- 見られる場所 ● 砂れき河原
大麻生など
- 花の時期 ● 8～11月
- 結びつきの強い生きもの ● ヒメヒロウドカミキリ



ヒメヒロウドカミキリ成虫

2001年5月26日

●ヒメヒロウドカミキリ

絶滅の恐れのある種のヒメヒロウドカミキリ(コウチュウ)の幼虫は、茎のながで育ちます。埼玉県内では限られた場所で見られません。

砂れき河原

砂れき河原

草

つるになっていない

背丈より低い

白

3~7枚の小さい葉の集合体



2001年8月31日

砂れき
河原

やや乾燥した明るい草はらに生える希少な種です。全国的に著しく減っています。荒川河川敷では中流の安定した砂れき河原で見られます。葉の柄や茎にはうす茶色の毛が生えます。秋にはまっすぐに立った茎に白色の花をたくさんつけ、よく目立ちます。

DATA

見られる場所 ● 砂れき河原

花の時期 ● 7~9月



花 2001年8月31日

コマツナギ

マメ科 コマツナギ属 *Indigofera pseudotinctoria*

砂れき河原

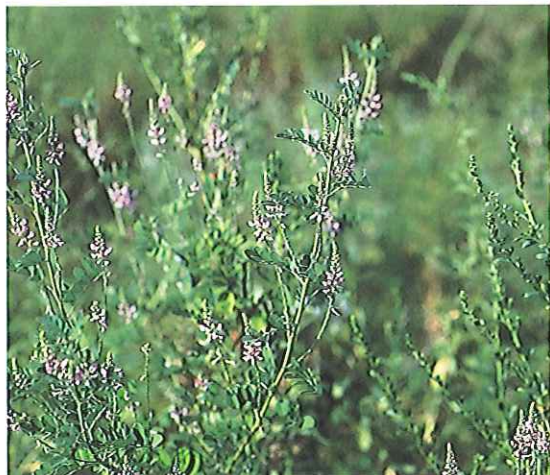
木

つるになっていない



背丈より低い ピンク

たくさんさんの小さい葉の集合体



花

2002年8月14日

一見、草のように見えますが、土手や河川敷などの明るい場所に生える落葉低木です。火入れや刈り取りの行われている場所では、まとまって生えています。馬をつなぐことができるくらい丈夫だということで「駒(馬)つなぎ」と名がついています。

DATA

見られる場所 ●砂れき河原
大麻生など

花の時期 ●7～9月

結びつきの強い ●ミヤマシジミ
生きもの



ミヤマシジミ♂成虫

1997年9月11日



幼虫

1999年8月18日

●ミヤマシジミの食草

絶滅の恐れのある種、ミヤマシジミ(チョウ・ガ)の重要な食草です。成虫は花や新芽に卵を産みつけます。

砂れき
河原

メマツヨイグサ アカバナ科 マツヨイグサ属 *Oenothera biennis*

砂れき河原

草

つるになっていない



背丈より低い

黄

切れ込みのない葉・ギザギザあり



ロゼットで冬を越す。2002年4月4日

2002年8月18日

砂れき
河原

耕作放棄地や河川敷など明るいところに生えます。花は夜に開きます。丈が高くオオマツヨイグサに似ますが、オオマツヨイグサよりも花は小さめです。現在オオマツヨイグサは荒川河川敷でほとんど見られず、大部分がこのメマツヨイグサです。北アメリカ原産の帰化植物です。

DATA

- 見られる場所 ● 乾燥した明るい草はら 各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 6～8月
- 結びつきの強い生きもの ● ルリクチブトカメムシ



ルリクチブトカメムシ成虫

●ルリクチブトカメムシ

葉の上では、ハムシ類の幼虫をねらう美しいり色をした肉食のルリクチブトカメムシ(カメムシ)が見られます。

メドハギ

マメ科 ハギ属 *Lespedeza cuneata*

砂れき河原

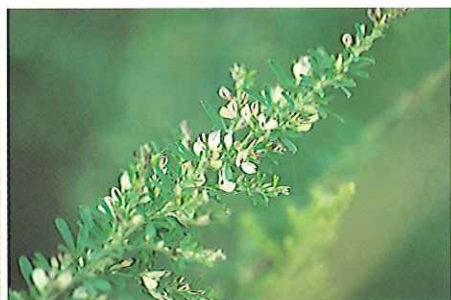
草

つるになっていない

背丈より低い

黄

3~7枚の小さい葉の集合体



蝶形をした花 2002年9月22日

2002年8月14日

明るい乾燥した草はらに生える草です。中流の自然が残された河川敷でヨモギ(145頁)、オトコヨモギ(199頁)などと一緒に見られます。小さい葉は長いだ円形で、ふちにはギザギザがありません。花は小さく蝶形です。

DATA

見られる場所 ● 乾燥した明るい草はら
各地にふつうに生える

花の時期 ● 8~10月

結びつきの強い生きもの ● キチョウ

砂れき
河原



キチョウ 1996年6月8日

●キチョウの食草

キチョウ(チョウ・ガ)の幼虫などが、葉を食べます。

コセンダングサ

キク科 センダングサ属 *Bidens pilosa*

砂れき河原

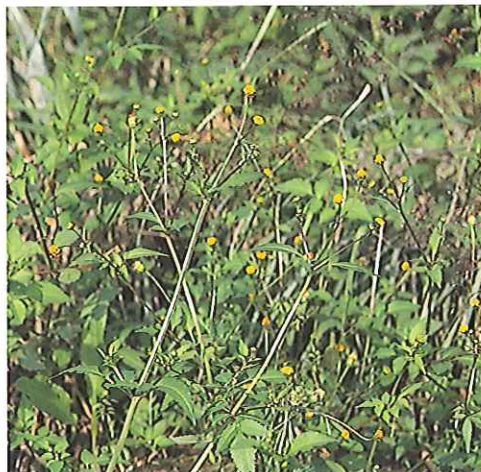
草

つるになっていない

背丈より低い

黄

3~7枚の小さい葉の集合体



2001年10月12日



花 2002年10月11日



葉は丸味を帯び、ギザギザがある。

2002年10月11日

河川敷や道ばたのいたるところで見られる草です。小さい葉はふつう5枚つき、そのふちにはギザギザがあります。アメリカセンダングサ(228頁)に似ていますが、花は小さいです。また実は細長く、先にあるトゲはふつう3本です。実はよく服などにくっつきます。熱帯アメリカ原産の帰化植物です。



実のトゲには逆向きの毛があり、服にくっつく。



アメリカセンダングサ

DATA

- 見られる場所 ● 乾燥した明るい草はら 各地にふつうに生える
- 花の時期 ● 8~12月